

## パパ・パル ～人材シェアリングの新たな潮流

作成者:Rapid Access International, Inc.

2022 年9 月

AARP が最近実施した調査によると、年齢を重ねても老人ホームや介護施設に入居するのではなく、自宅に留まることを選択する高齢者が増えている<sup>1</sup>。高齢者にとって大きな理由の一つは、自立の維持である。もう一つの理由は、自宅に留まるほうが介護施設よりも費用対効果が高い場合が多いことであり、米国での平均費用は9 万ドル強である。介護付き住宅は年間で10 万ドル以上かかることが多い。そしてもちろん、自宅に留まるということは、多くの場合、家族や友人の近くにいるということである。

自宅に留まる場合は、在宅介護サービスを選択することになる。高齢者介護の人材紹介会社は、高齢者やその家族と協力してニーズを満たせるようにすることで知られている。ラックス・シニアケアのマネージングディレクターであるジュリアン・オカンポは次のように説明している。

*中年期の人は、ほとんどの場合、年老いた両親を24 時間介護することはできませんが、完全に人任せにしたいとも思っていません。介護人材紹介会社は、高齢者の家族が仕事をしている間や子供の世話をしている間、介護の不足を補うことができます。当社は家族と一緒にいられるように隙間を埋める接着剤のような役割を果たしていません。*

### パパ社

自宅生活高齢者向けには、フロリダ州マイアミを拠点とする2017 年創業のパパ社が提供しているサービスもある。創業者兼 CEO のアンドリュー・パーカーが同社を設立したきっかけは、自分の家族が日々の生活と祖父ジョセフへのサポートを両立させようと苦勞していたことである<sup>3</sup>。ジョセフは家族にパパと呼ばれており、パパが必要としていたのは基本的に、一緒にいる仲間や日常作業を手伝ってくれる「パル（友人）」であった。

実際、パパ・パルは高齢者だけに向けたサービスではない。パパ社は、メディケアアドバンテージ、メディケイド、70 近くの民間医療保険と提携し、介助及び介護サービスを提供してい

---

<sup>1</sup> 「老人ホームより”自宅生活”を選ぶ高齢者が増えている理由」 EIN Presswire。2022 年10 月4 日。参照: [https://www.einnews.com/pr\\_news/594168312/more-seniors-choosing-to-age-in-place-over-nursing-homes-here-s-why](https://www.einnews.com/pr_news/594168312/more-seniors-choosing-to-age-in-place-over-nursing-homes-here-s-why) 2022 年10 月6 日閲覧

<sup>2</sup> 同上

<sup>3</sup> パパ社の Web サイト「About Us」参照: <https://www.papa.com/about> 2022 年10 月6 日閲覧

る。一方、同社は企業の雇用主とも提携しており、企業のウェルネスプログラムの一環として従業員にサービスを提供している。これには、雇用主が生産性を向上させ、欠勤を減らすのに役立つという考えがある。従業員のためには、犬の散歩や、在宅勤務をしている間の子供の宿題の手伝いなどもサービスに含まれる場合がある。

パパ・パルになろうと思う人はオンラインで申し込みが可能だ。パパ社が応募者を審査し、「交友、家の手伝い、買い物、移動などによる」会員のサポートで時給を得ることができるか判断する<sup>4</sup>。パパ・パルになれたら、同社のモバイルアプリを使って仕事の機会を閲覧したり、会員への訪問を予約したりすることができる。ウーバーのドライバーが配達を引き受けるような方式である。

パパ社の Web サイトによると、同社は 40 の州で事業と採用を行っている。バージニア州アーリントンとその周辺地域での求人例では、パパ・パルの時給はパートタイムの付き添い介護者で 13 ドルである。そのレートで費用を低く抑えることができるのは容易に見て取れるが、ボーナスが適用されると 20~25 ドルの時給を得ることができることもある。同サイトに記載されている訪問の種類は、交友、お使い、家事、移動などである<sup>5</sup>。

## シェアリングエコノミーの進化

タクシー、レストラン、ホテルは、ウーバー、クラブハブ、エアビーアンドビーなどとの競争に直面しても間違いなく成長を続けていくことができる。従来の在宅介護サービスや介護人材紹介会社も、自宅生活を選択する高齢者の増加というニーズに応え続けていくであろう。しかし、誰もが従来の在宅介護サービスを必要としているわけではない。また、従来のサービスを必要とする人々にとっても、パパ社のような企業が提供する補足的なサービスは、自宅生活のトレンドを実現可能かつリーズナブルな選択肢にする上で大きな違いをもたらす可能性がある。

パパ・パルは、メディケアやメディケイドだけでなく、70 近くの民間健康保険と提携していることから、主な基盤は健康保険にあるようだ。同社の Web サイトに掲載されている雇用主のクライアントはほんの一握りである。しかし、それもまた変わるかもしれない。在宅勤務と出社勤務の両方の生産性と欠勤の問題に関して、雇用主が検討すべき新たな解決策があることは確かである。

---

<sup>4</sup> パパ社の Web サイト「Pals」参照: <https://www.papa.com/pals> 2022 年 10 月 6 日閲覧

<sup>5</sup> パパ社の Web サイト「Locations」>「Virginia」>「Arlington County」>「Arlington」参照: <https://www.papa.com/locations/virginia/arlington-county/arlington> 2022 年 10 月 6 日閲覧